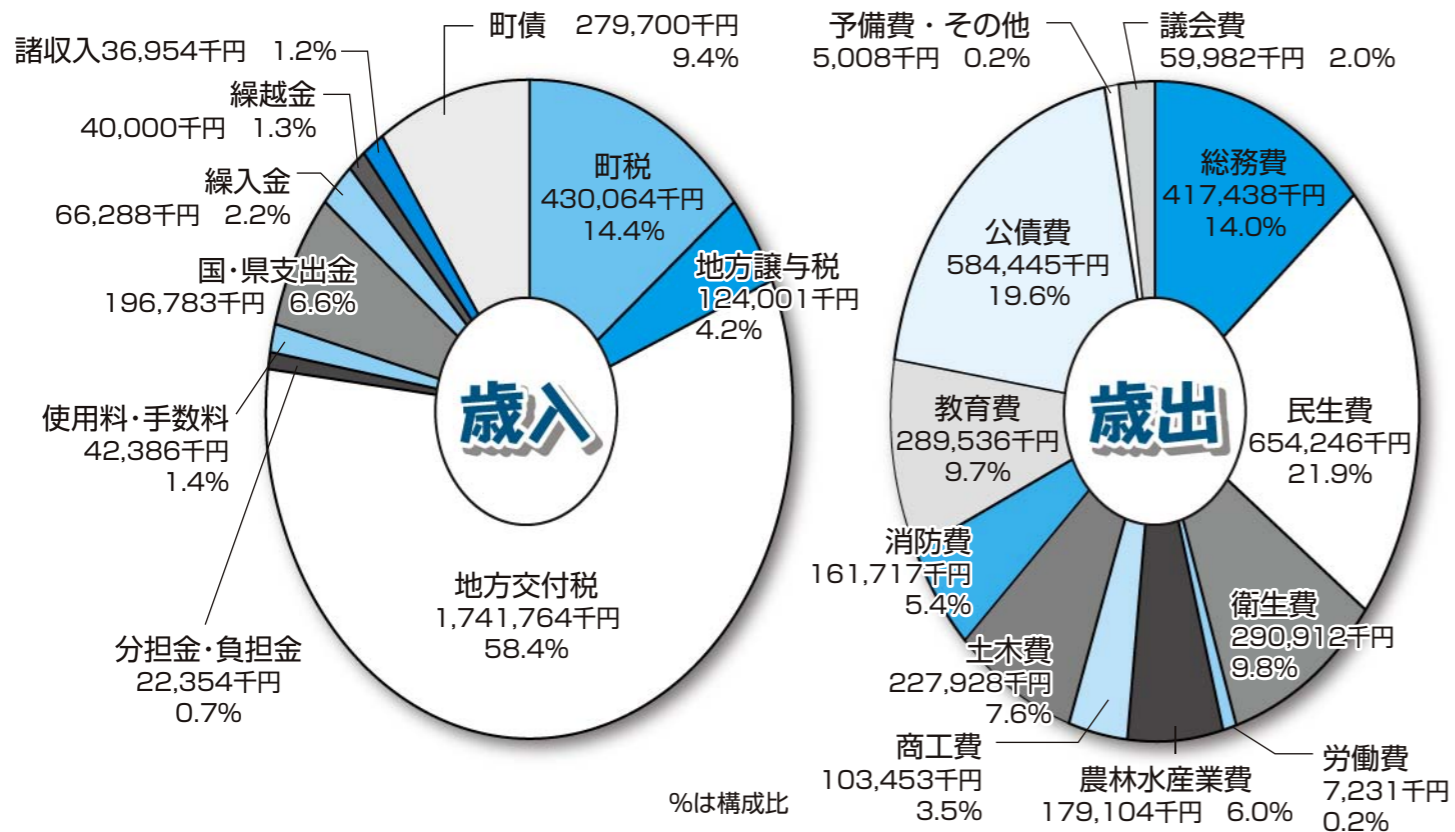
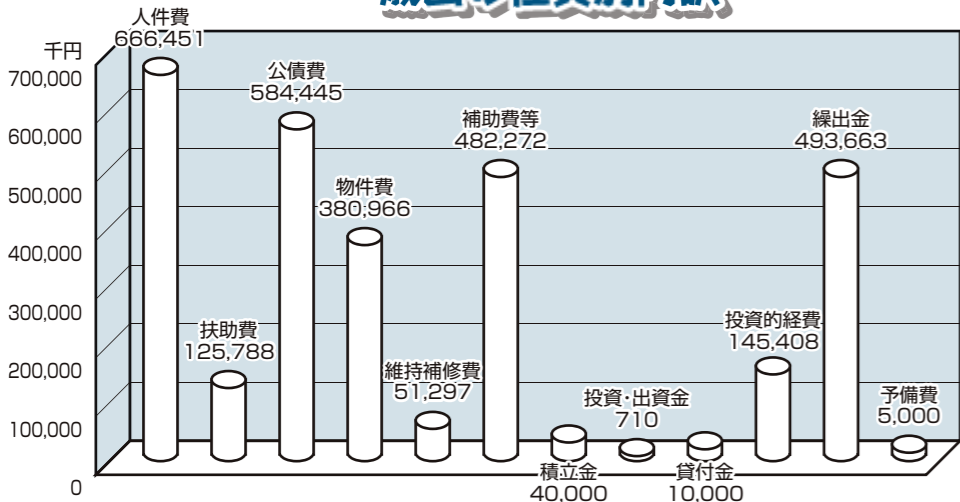


元気の共創

平成20年度予算決まる 一般会計は総額29億8,100万円



歳出の性質別内訳



【スポーツ振興と健康づくり】
全育成をさらに進めます。
町民スポーツ活動、健康体力づくりを基本に、「健康ふれあいスポーツクラブ」を強化し、スポーツの定着とともに競技スポーツの成果向上を図ります。
また、20年度は町民ふれあい球技大会の開催年です。

町民のみなさんと行政が、目指すべき方向を共有し共通のイメージを膨らませながら、まちづくりに取り組んでいくために、新たに、一年間の「まちづくりの目標=テーマ」を掲げました。

平成20年度のテーマは「元気の共創(げんきのきょうそう)」です。

あらゆる分野が厳しい環境に置かれている今だからこそ、改めて「金山らしさ」を引き出すために、チャレンジしていかなければなりません。前向きに、元気を創り出すために、町民のみなさんと共に知恵を出し合い、工夫し合い、小さな声にも応えられる行政を目指していきたいという決意を込めたテーマです。みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

施策の柱

- 1 人材育成事業
- 2 健康づくり事業
- 3 産業振興
- 4 定住・交流促進事業

主な重点事業

【人材育成】

社会力と公益性を持つ人間性豊かな金山人育成のため、「かねやま清い心の町創造基金」を活用し、今年度は青年・壮年を対象にフォーラムを開催しながら、その組織化を目指します。

【健康づくり】

食育、健康運動と体力づくり、心の健康づくりなどを柱とする健康づくり推進事業の最終年度は、昨年度に引き続き「金山型の健康長寿宣言」を目指して取り組みます。

【産業振興】

平成20年度の町の前算が3月10日に町議会定例会で議決されました。国のいわゆる「骨太の方針2006」における19年度からの5ヶ年の地方改革目標で、厳しい財政状況が続く中、限られた財源で、より効果的に効率的な行政運営が求められています。
このため、新年度予算は、プラス思考で当面の重点課題に取組み、可能な限りの政策を実現するように知恵を絞って組み立てました。

3ヶ年計画で実施してきた町単独の「ほ場」整備補助事業は、事業効果が大きいために、さらに1年延長します。また、農業用施設整備補助事業は20年度を最終年度として実施します。
認定農業者支援として、農地集積奨励金補助制度と園芸担い手育成のために県の「やまがた園芸担い手チャレンジプラン支援事業」を継続。新規に「新農業やまがたプロジェクト創造支援事業」に取り組み、新農業推進員を設置して地域循環型農業を展開する体制整備を図ります。

産業振興施策の充実を目指し、引き続き「菜の花プロジェクト事業」、「地産地消推進事業」を進めます。

【定住・交流】

より多くの定住・交流人口の増加を目指し、団塊の世代をはじめとする第2の人生ステージ「金山暮らし」の環境整備をさらに進め、3ヶ年目となる「SUI」と「かねやまプロジェクト」事業の効果的な宣伝活動を推進します。また、新規施策として、町に移住し住宅を新築・改築した場合の融資に係る利子補給を行います。

【環境】

コンポスター等導入補助、不法投棄処理困難物の適正処理、町リサイクル活動推進・集団資源回収奨励金交付を継続するとともに、町民総参加による「こ

みゼロ金山」「地球温暖化対策」等の進め方について町民各層のメンバーによる「循環型地域社会づくり協議会」において検討を進め、取り組みを広げていきます。

【少子化対策支援】

町独自の子育て支援事業である第3子以上の多子出産・入学祝金、多子通園(保育園・幼稚園)助成を継続します。加えて乳幼児・小学生の法定予防接種無料化を継続、妊婦健診助成回数拡充に加え、不妊治療助成に対して町でも助成します。

【まちづくり事業】

景観条例に基づく新築・改修等への補助や下水道処理区域外の合併処理浄化槽設置補助を継続。19年度に街なみ環境整備事業で整備した大堰公園の周辺通路を整備します。また、19年度にオープン10周年を迎えた「シエーネスハイム金山」の老朽箇所のリニューアルを引き続き進めます。

【教育振興】

教育指導員を引き続き配置し「新適時適育」「中高一貫教育」の充実を目指します。さらに、幼児教育・保育検討委員会の答申を踏まえ、就学前幼児の教育・保育のあり方の具体化を目指して取り組みます。また「放課後こどもプラン事業」を引き続き実施し、学童保育の充実を努めます。
生涯学習、芸術文化活動、青少年健